

平成22年度奈良市子ども読書活動推進委員会会議録

開催日時	平成23年3月3日（木）午前10時から午前12時まで	
開催場所	奈良市役所北棟6階第22会議室	
議 題	1 平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画について 2 意見交換	
出席者	委 員	松川委員長、小西委員、花木委員、土田委員、片岡副委員長、高木市民活動部次長、石原学校教育課長、川畑椿井小学校長、新免富雄南中学校長、山本生涯学習課長、松嶋中央図書館長、吉川西部図書館長、明田北部図書館長、寺田子育て課長、森村保育課長、前田健康増進課長 【計16人出席】
	ワーキンググループ	山口指導主事、松田、外良補佐、小橋係長、林主査、安田主任、竹村、西野主任、江口、中尾園長、野儀係長 【計11人出席】
	事務局	1人
開催形態	公開（傍聴人2人）	
決定事項	平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画について	
担当課	市民活動部生涯学習課、教育委員会事務局学校教育部学校教育課	
議事の内容		
1 平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画について 「子ども読書活動推進事業計画の進捗状況等報告書」を基に、各課・各事業所が報告を行った。		
2 意見交換		
【質疑・意見の要旨】		
委員長	各委員より、平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画について報告がありましたが、質問やご意見がありますか。	
小西委員	学校、図書館、市の行政の方たち、PTAの方、ボランティアと一緒にあって少しずつすすめていけることがあるというのは嬉しいことだと思います。ボランティアが高齢化していますので、若い保護者の方と連携したいというのがボランティアの課題なのでよろしくお願いします。	
花木委員	委員会場で各課の報告が合わさることで、その情報を共有化して、相乗効果になって、それが続いていくことで、すごく大きな力になっていくと思いました。 おおむね5年間という計画なので、今後これをどのようにつなげていかれるのかということを知りたいと思います。	
事務局	このような場で組織の枠を超えて一体となって運用できているという実績も大きいと思いますので、これをさらに継続させる意味でもこの委員会、計画そのものを継続していければと、現場のものとしては思っております。	

今年度それから来年度の会議で、次の段階にどういう形で引き継いでいくかということを経験いただきたいと思っております。

土田委員

子どもはとて本が好きだと思うのです。本が嫌いな子というのはいないので、どんどん子どもたちに本の読み聞かせなどをさせていただきたいと思えます。今の計画が5年間というのがありますけれど、続けて連携していただきたいと思いました。

新免委員

本日の報告で、幼児期からの手立てが増えているのがとてもいいなと思えました。小さいころから本に親しませないと、なかなか中学に入ってから急に本好きにはならないので、こまめな手立てが小さいころからできていて、また若いお母さんに対しても子どもが本に親しむ機会を作っているのがすごくありがたいと思えました。

図書室には蔵書数がすごく増えていますが、本が多すぎて入りきらない現状があります。それをふまえて、学級文庫の充実のほうに教育委員会のほうで力をいれていただけるとありがたいと思えます。

ボランティアの育成もしていただいているようですので、地域とつながっていくという面もふくめて中学校でもとりいれていかなければならないと、来年度からの中学校の課題になると思って聞いておりました。

また、今図書館では世界遺産コーナーを作っているようです。そういうコーナーをもっと充実させていただけたら、学校からの活用も、総合的な学習等で使わせていただくときにいいと思えました。よろしく願います。

川畑委員

今年度は全国図書館大会奈良大会がございました。学校図書館に関わる人だけでなく、図書館にかかわる人たちが、全国大会にむけてそれぞれ取り組んだ年でもありました。それによって学校図書館にむける意識は高まり、みなさんにもわかっていただいた部分がたくさんあったのではないかと思います。来年はまた新しい出発をするいい年になってほしいとがんばっていましたが、それに向けて確認できた部分がたくさんあったと思えます。新しいスタートを来年度は切れたらいいと思っています。

またファーストブックをどの部署も大切にしてくださっているというのが共通してあると思えました。部署同士で連携していただいて、ファーストブックをさらに大事にしていける取組を、乳幼児にも、お母さんにもしていただきたいと思えます。そういう形で連携などをさせていただけたら、小学校、中学校とつないでいけるのではないかと思います。連携をしていける部分を一緒に実践していただけたら、この会の意味もまたあるのではないかと思います。

奈良市では、「奈良で育ったことを誇れることができる子どもに」ということで、教育ビジョンにも大きくあげられています。各学校も取組をどんどんすすめています。その中で奈良のよさを本でも知り、体感でき、また世界にむけて発信もしていける子どもを育てていきたいと思っておりますので、いろいろ揃えていただけるとありがたいと思っています。

高木委員	図書館をまず活用するということが、大切かと思います。図書館の活用の及んでいない家庭が非常に多いのではと感じるので、図書館のほうで PR などしていただくなど、今後とも取り組みのほどよろしく願いいたします。
片岡副委員長	報告の内容として、こういう事業の中ではこういう成果があつてこういう課題があったというのを、この委員会に提案できるような報告書にしていだければと思います。
松川委員長	読書というのは地道な、草の根的な活動で、即効性はなく、けれど、長い努力が求められます。来年度も継続されるとのことなので、今日のご発言・ご意見を踏まえて、それぞれの部署でしていることをどうつないでいくのかということを考えていかなければなりません。今現場で起こっている課題をすくいあげつつ、改善していくという方向も次年度以降あるかと思います。報告書を読んでいて思ったのが、外に向かっていくというような、ひとところにとどまらない用語はそれぞれの部署にとってもひとつのキーワードになるかなと思います。用語という点では、協働という言葉もひとつのキーワードになっています。そのプロセスにおいて、協働は作用しあうものだと思います。文字通りこの推進委員会は各部署が協働していく組織になっていくと改めて思いました。委員会が継続して奈良市の読書活動推進に貢献していくことを願っています。
資 料	【資料1】奈良市子ども読書活動推進事業計画の進捗状況等報告書